

**製品名: CD80 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08462**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:50-1:200, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CD80
別名	T-lymphocyte activation antigen CD80 (Activation B7-1 antigen; BB1; CTLA-4 counter-receptor B7.1; B7; CD antigen CD80)
遺伝子 ID	941.0
SwissProt ID	P33681
免疫原	AA 範囲: 100-160 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

**背景**

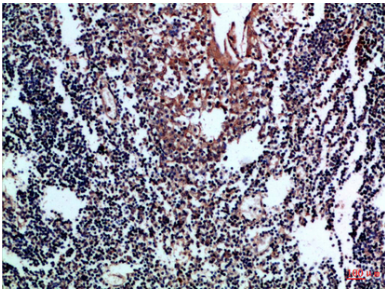
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CD28 または CTLA-4 の結合によって活性化される膜受容体です。活性化されたタン

パク質はT細胞の増殖とサイトカイン産生を誘導します。このタンパク質はアデノウイルスサブグループ B の受容体として作用し、ループス神経障害に関与している可能性があります。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: Tリンパ球の活性化に不可欠な共刺激シグナルに関与。T細胞の増殖とサイトカイン産生は、CD28 または CTLA-4 がこの受容体に結合することによって誘導されます。、類似性: 1つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、類似性: 1つの Ig 様 V 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。、サブユニット: アデノウイルスサブグループ B の繊維タンパク質と相互作用し、これらのウイルスの受容体として機能します。、組織特異性: 活性化 B 細胞、マクロファージ、樹状細胞に発現します。、

## 研究分野

細胞接着分子 (CAM) 、Toll\_Like、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク、1 型糖尿病、自己免疫甲状腺疾患、全身性エリテマトーデス、同種移植片拒絶、移植片対宿主病、ウイルス性心筋炎、

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された